

秋山川改修事業について

[佐野市 植下町～大橋町]

令和2年6月
栃木県 県土整備部



1 主旨説明

- 佐野市を流れる「秋山川」では、令和元年東日本台風により堤防が決壊するなど、甚大な浸水被害が発生しました。
- 再度の災害を防止するために、原形復旧に留まらない改良復旧計画を立案し、事業採択されました。
- これから、栃木県が実施する改修事業計画の概要と、今後の予定スケジュールを説明します。

2 令和元年東日本台風の降雨について(1/2)

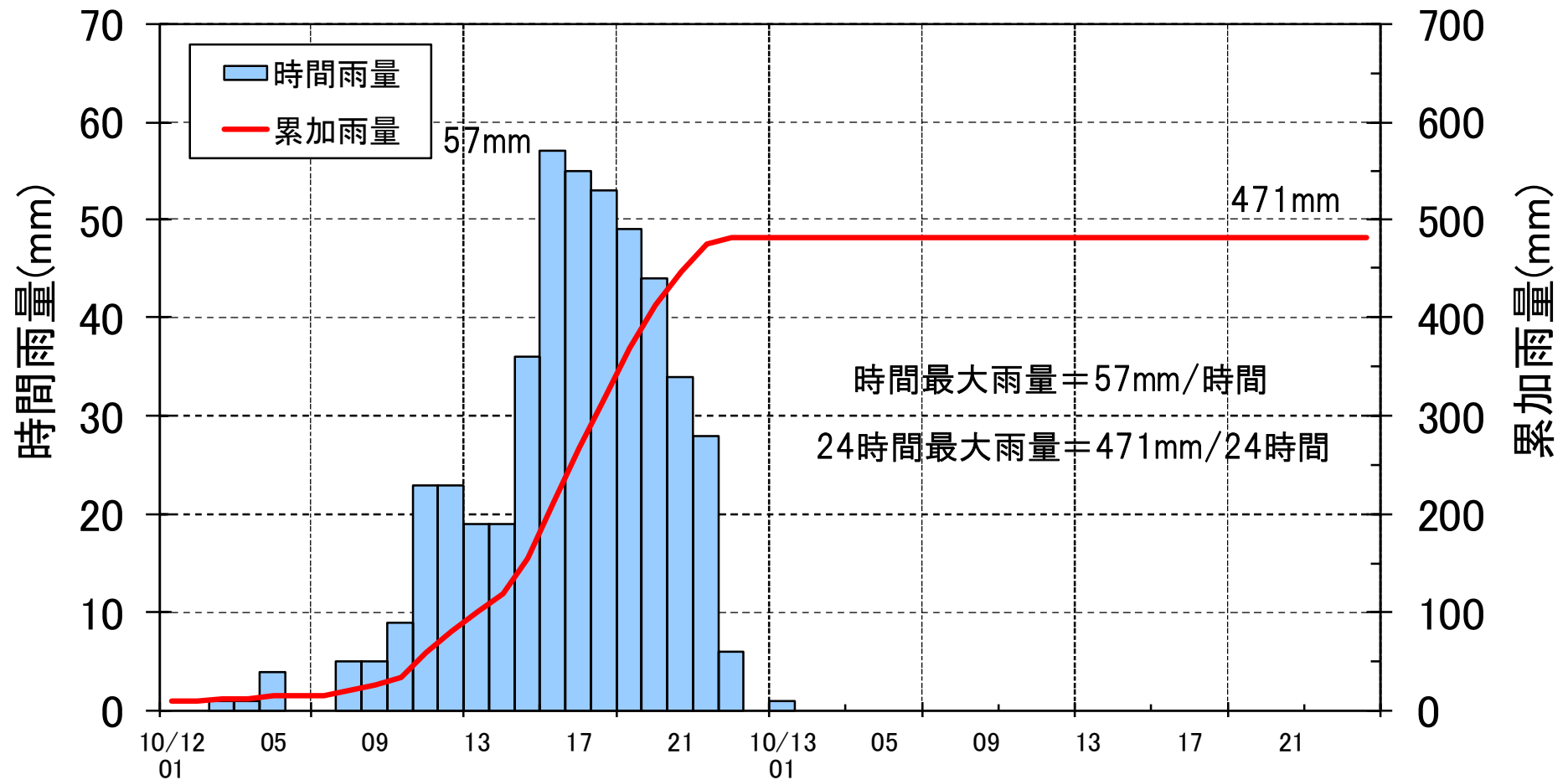


○令和元年東日本台風により
栃木県では令和元年10月11日
から13日朝にかけて、県内全
域で大雨となりました。

○秋山台雨量観測所では、この
大雨により24時間最大で
471mmを観測しました。

2 令和元年東日本台風の降雨について(2/2)

秋山台(県)

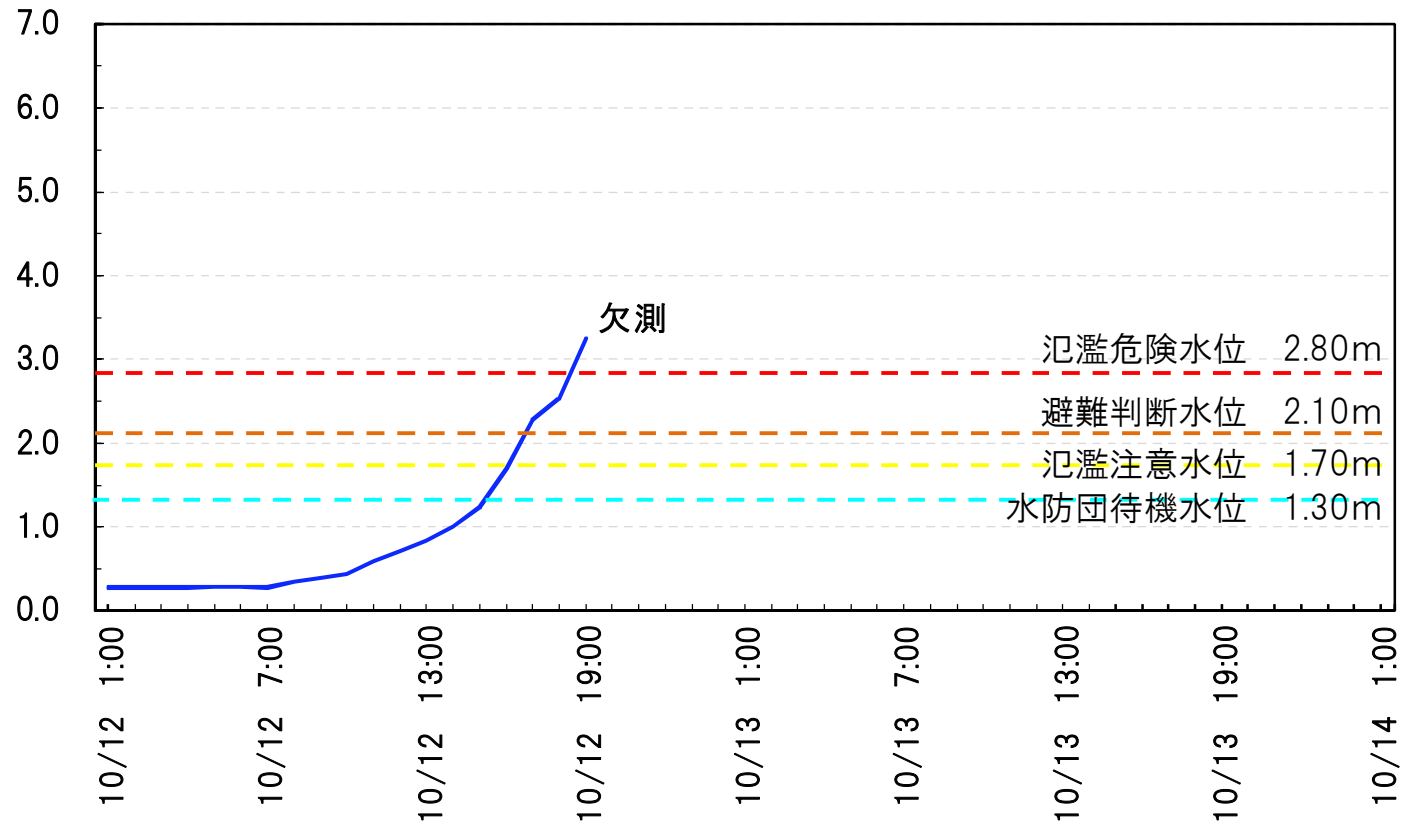


○グラフは秋山台雨量観測所における時間ごとの雨量です。

○24時間で最大471mm、1時間あたり最大で57mmを観測しました。

3 令和元年東日本台風による秋山川の水位について

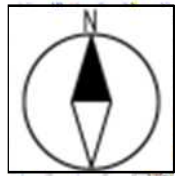
■大橋水位観測所位置図





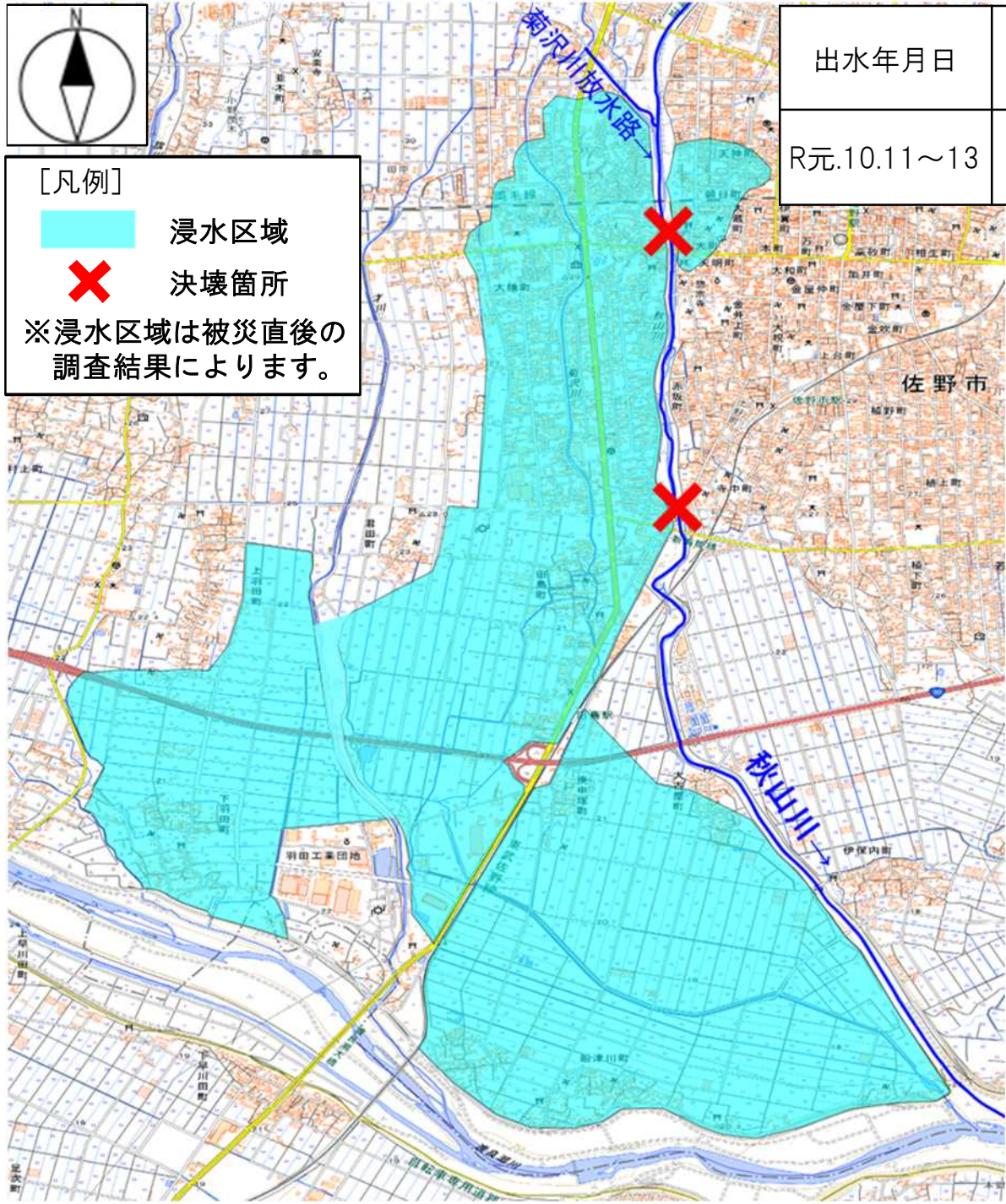
氾濫危険水位	氾濫注意水位を超え、更に水かさが増し、溢水・氾濫等により重大な災害が起こるおそれがある水位のことをいいます。	避難判断水位	氾濫注意水位を超え、水かさが増し、溢水・氾濫等により重大な災害の発生を特に警戒すべき水位のことをいいます。
氾濫注意水位	降雨などによって水かさが増し、災害のおそれがある水位のことをいいます。	水防団待機水位	水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位のことをいいます。

○大橋水位観測所では、秋山川の水位が氾濫危険水位を越え、最高水位3.25mを観測しました。（その後、施設が被災し欠測）

4 浸水被害について



[凡例]
 浸水区域
 決壊箇所
 ※浸水区域は被災直後の調査結果によります。

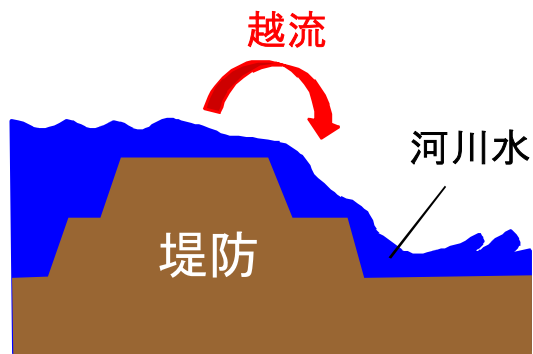


出水年月日	河川	市町村	浸水戸数（戸）		
			床上	床下	計
R元.10.11~13	秋山川	佐野市	1,411	636	2,047

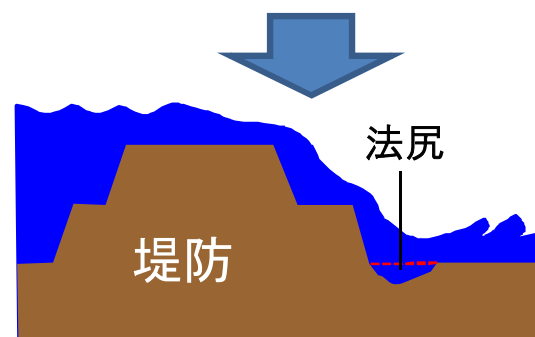


佐野市では、
 1,411戸以上の床上浸水、
 636戸以上の床下浸水の
 甚大な被害が発生しました。

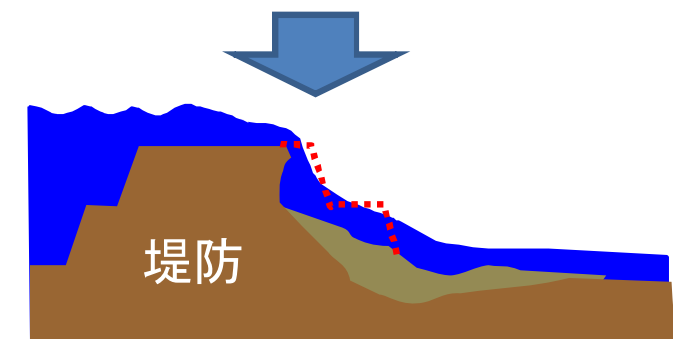
5 浸水被害の要因について



①河川の水が堤防を越える



②堤防が浸食を受ける



③堤防浸食により **堤防決壊**に至る



○令和元年東日本台風による浸水被害は、秋山川で流せる水の量（流下能力）を超える雨が降り、河川の水が堤防を越え、堤防が浸食を受けて決壊したことなどにより発生しました。

○海陸橋上では、漏水も一因として調査中です。

6 被災からこれまで

○ 応急復旧工事の実施



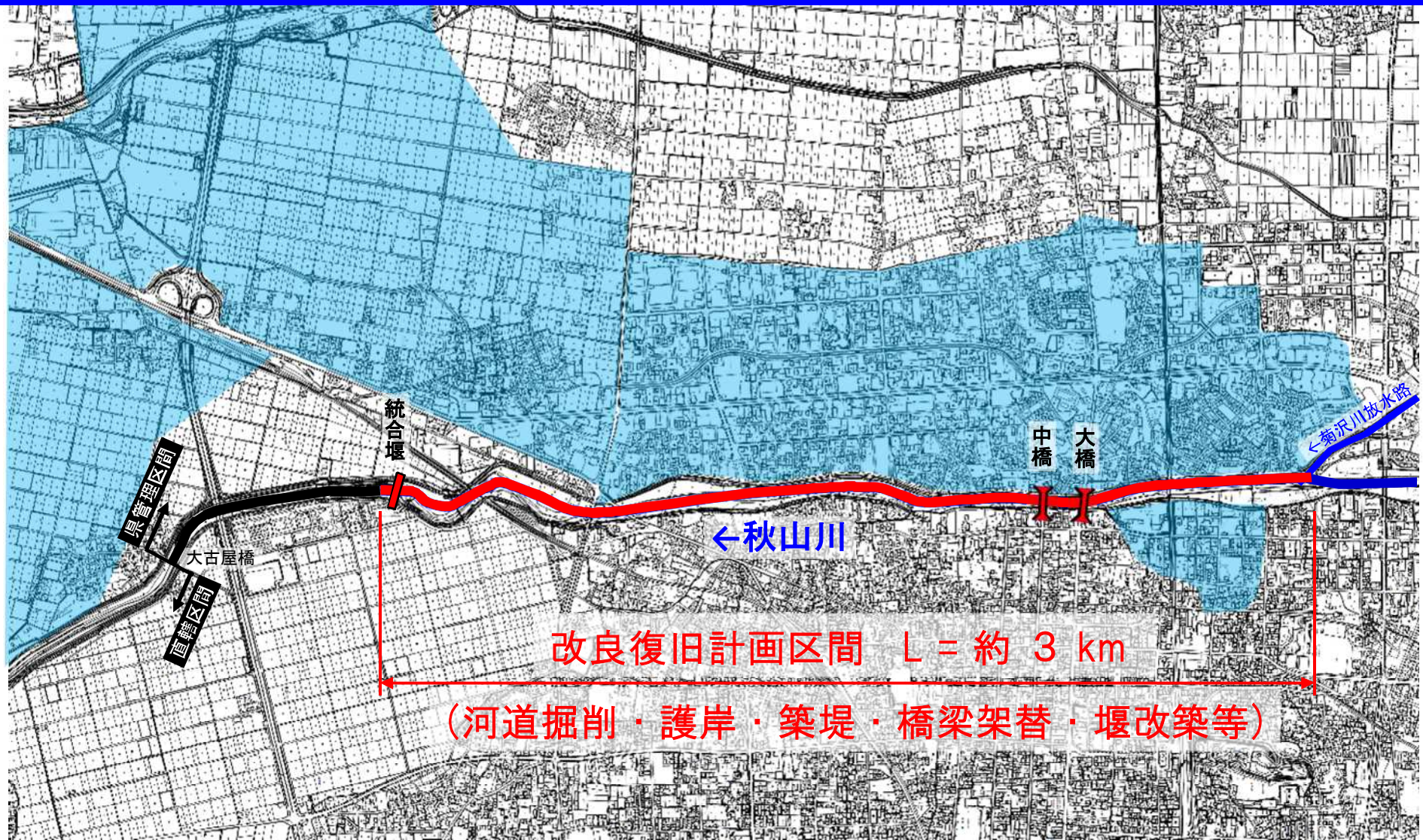
被災後速やかに、堤防決壊箇所について、大型土のう及び暫定堤防等による応急復旧工事を実施しました。

○ 応急復旧箇所の追加対策



河川の水が増加する時期に備え、応急復旧に追加対策が必要な箇所について、護岸工事を実施しました。

7 改良復旧計画区間



- 河川の流下能力不足により越水や決壊が発生し、特に甚大な被害が発生した区間約 3 km において、改良復旧事業を実施します。
- 令和 6 年度の完成を目指します。

8 改良復旧計画(1/2)

○ 事業のイメージ

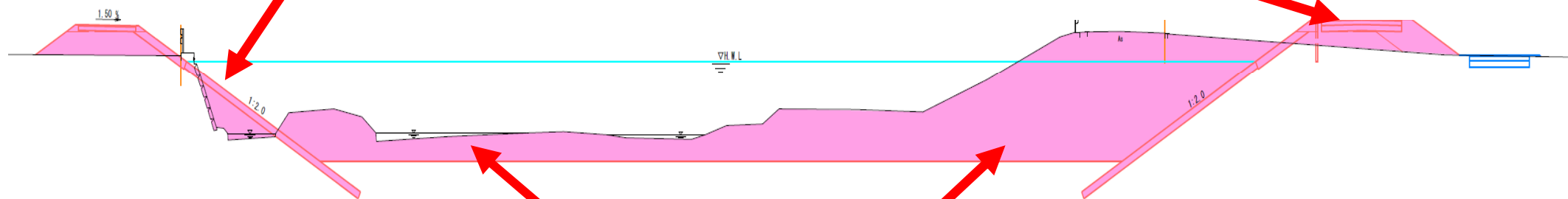
令和元年東日本台風と同規模の洪水が再来しても、越水させない計画としています。

② 護岸

堤防の浸食を防止するために、護岸を張ります。

③ 築堤

必要に応じ、堤防の嵩上げや川幅を広げることで、流下能力を向上させます。

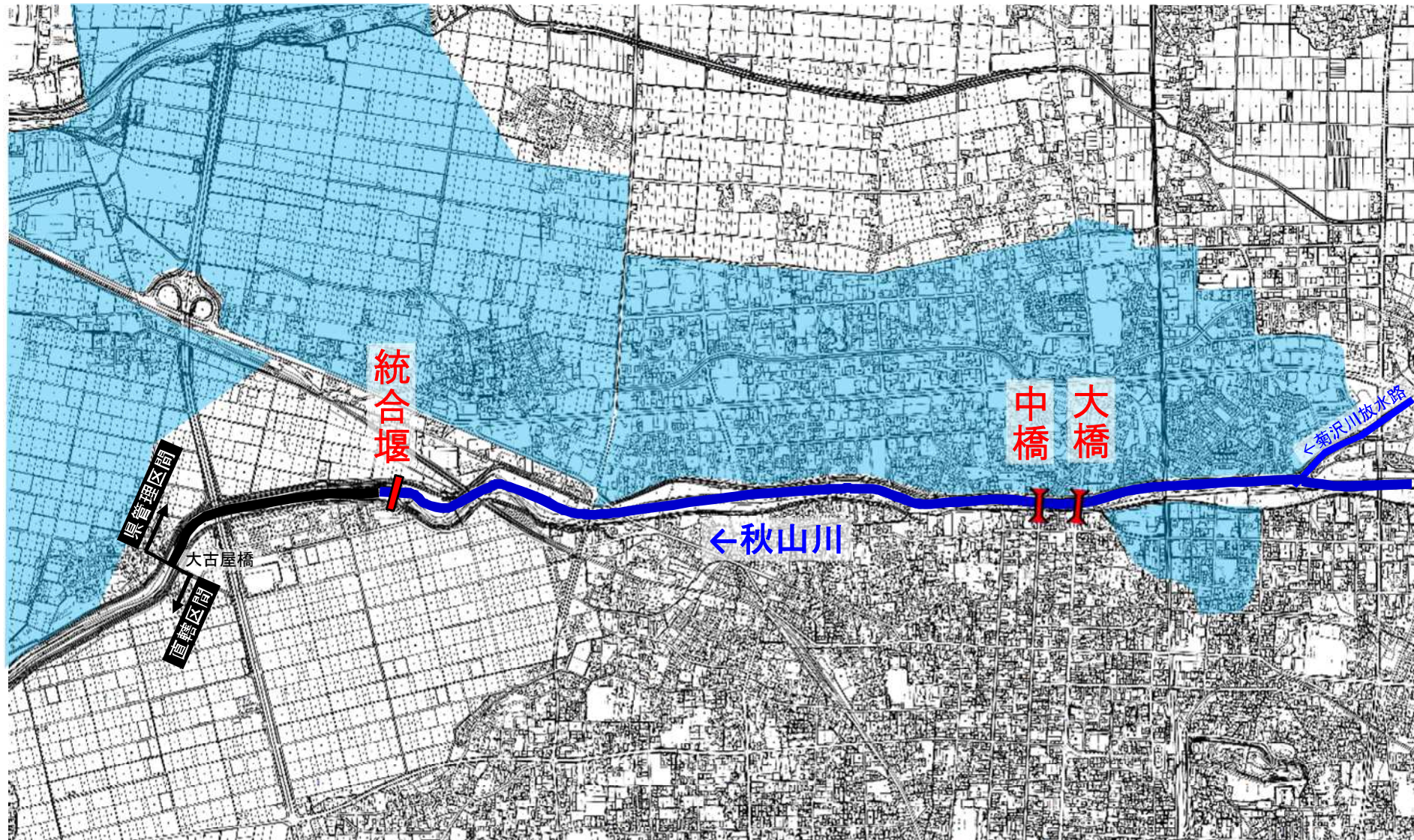


① 河道掘削

河道内を掘削することで、流下能力を向上させます。

8 改良復旧計画(2/2)

○ 構造物の改築



○ 本事業において、橋梁2橋を架け替えます。

○ 同様に、堰の改築も実施します。

【改良復旧事業 秋山川】

全体事業費：約60億円

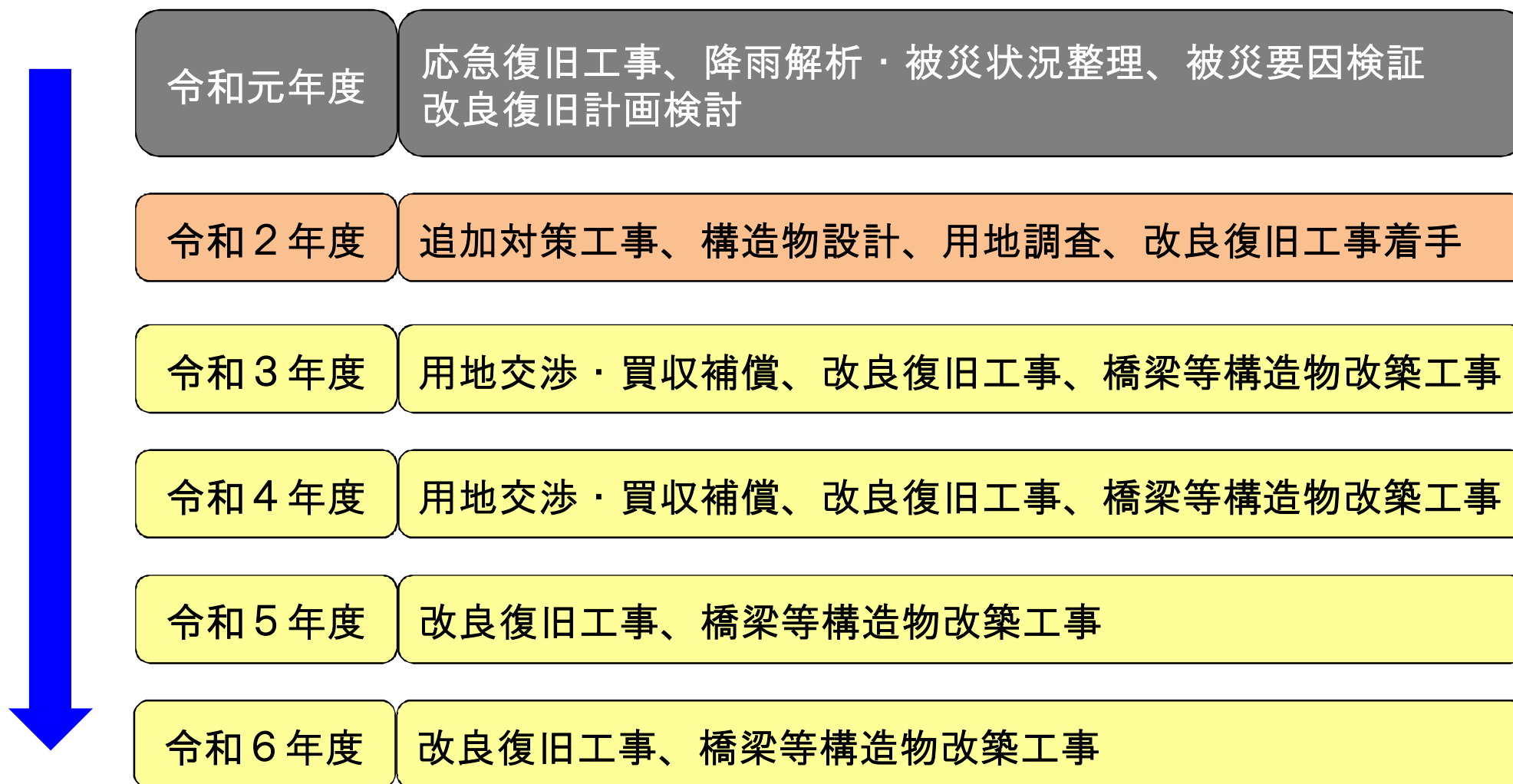
事業期間：令和元年～令和6年（予定）

事業延長：約3km

事業概要：
・河道掘削
・築堤
・堰改築
・護岸
・橋梁架け替え

- 令和元年東日本台風による洪水と同規模の洪水が再来しても、河川の水が堤防から溢れない計画としています。
- 令和元年東日本台風による洪水で、堤防からの越水や決壊により生じた浸水被害を解消します。

10 今後の予定スケジュール



- 令和6年度の完成を目指し、事業を進めて参ります。

11 完成までの対応

河川パトロールの強化

【秋山川での事例】



出水期前に市と共同で
パトロールを実施

洪水リスク情報の発信

・洪水情報のプッシュ型配信

(件名)
●●川 河川氾濫のおそれ

(本文)
警戒レベル4相当
こちらは栃木県河川課です

【内容】
・●●川の水位が上昇し、避難勧告等の
目安となる氾濫危険水位に到達しました
・河川の水が堤防からあふれ、浸水する
おそれがあります

【取るべき行動】
・防災無線やテレビ等で市町からの避難
情報を確認し、各自で安全を確保するよう
防災行動をとってください
※水位の詳細は県ホームページで確認で
きます
(栃木県)

氾濫の恐れがある場合等
に緊急速報メールを配信

・河川監視カメラを新設



【設置予定場所】
・岩鼻橋
(事業区間より上流)

【設置事例】



住民の円滑かつ迅速な避難行動に
資するきめ細やかな河川情報を配信

対策が完了するまで時間を要することから、河川パトロールの強化を図るとともに、河川の洪水リスク情報の発信に努めます。

～秋山川に関する問い合わせ～

【栃木県 県土整備部 河川課】

電話番号：028-623-2444

F A X : 028-623-2441

E mail : kasen@pref.tochigi.lg.jp

【安足土木事務所 整備部】

電話番号：0284-42-5589

F A X : 0284-41-6373

E mail : ansoku-dj@pref.tochigi.lg.jp